

奉  
神  
詠  
詩  
上

R18  
ADULT  
ONLY



鶴丸様











旦那 大将がないから今は 手入れができねえ 簡単な応急処置で悪いな...



何言ってるんだ!? あんただって 満身創痍なんだぞ!?



他の奴等は休ませて やってくれ

旦那!?



仕方あるまい 手当てして貰えるだけ 御の字だ



すまんな 薬研



それでも  
俺が行かねばねらん



主とまだ  
繋がっているのは  
俺だけだ

俺でなければ  
主の元にさえ  
辿り着けないだろう




俺も…っ俺も連れて行け！  
他の奴等より  
傷も軽い！  
旦那だけ行かす訳には  
いかねえ!!



駄目だ

今この本丸の刀剣は  
婚姻した俺を除いてすべて  
主からの霊力の供給を  
絶たれているんだ

本丸の中なら  
主の霊力が残っているから  
顕現し続ける事が出来る



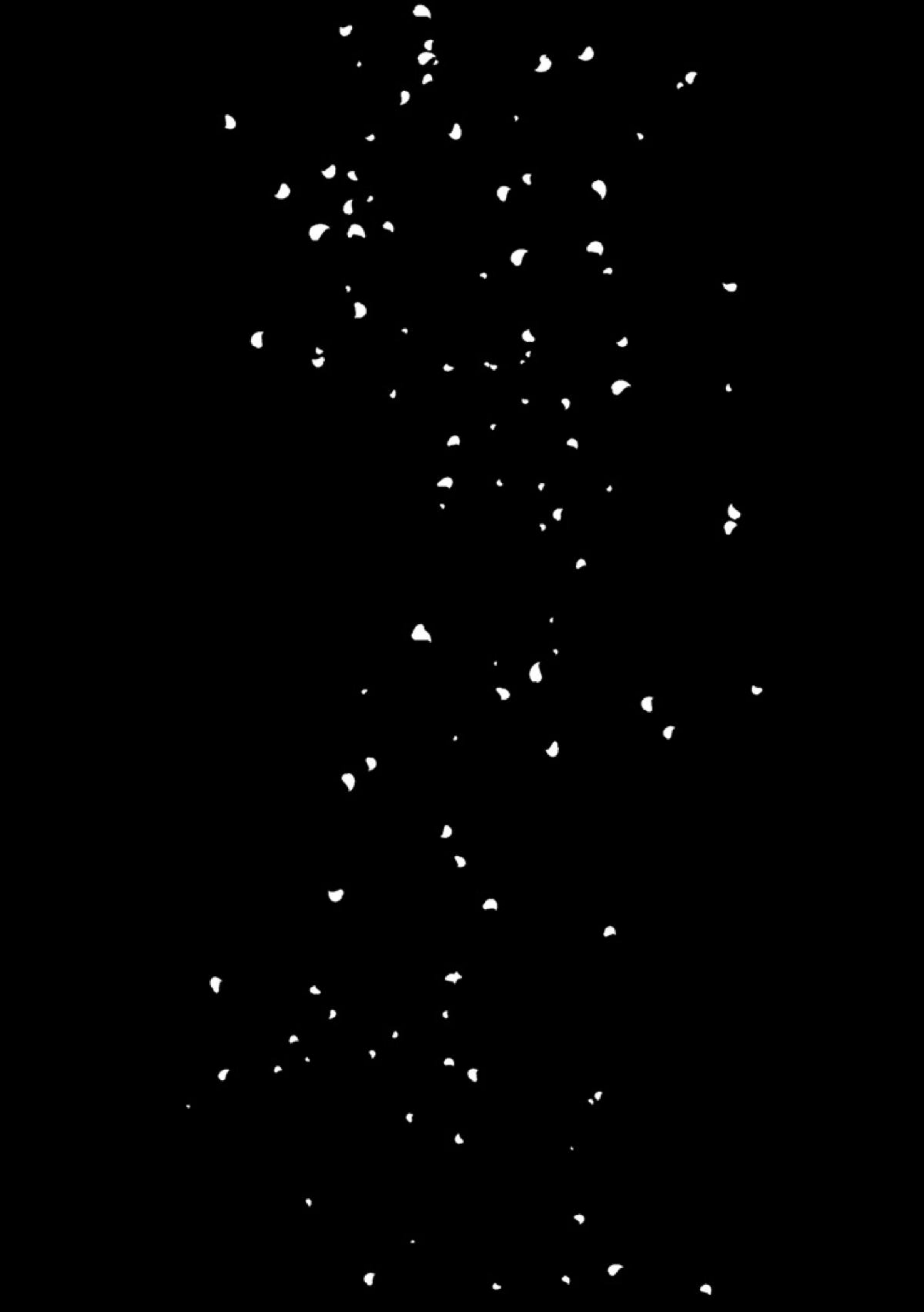
誰一人  
折れる事無く  
主の帰還を待っていてくれ

それにな



自分の嫁は自分で取り戻す  
それが男ってもんだ





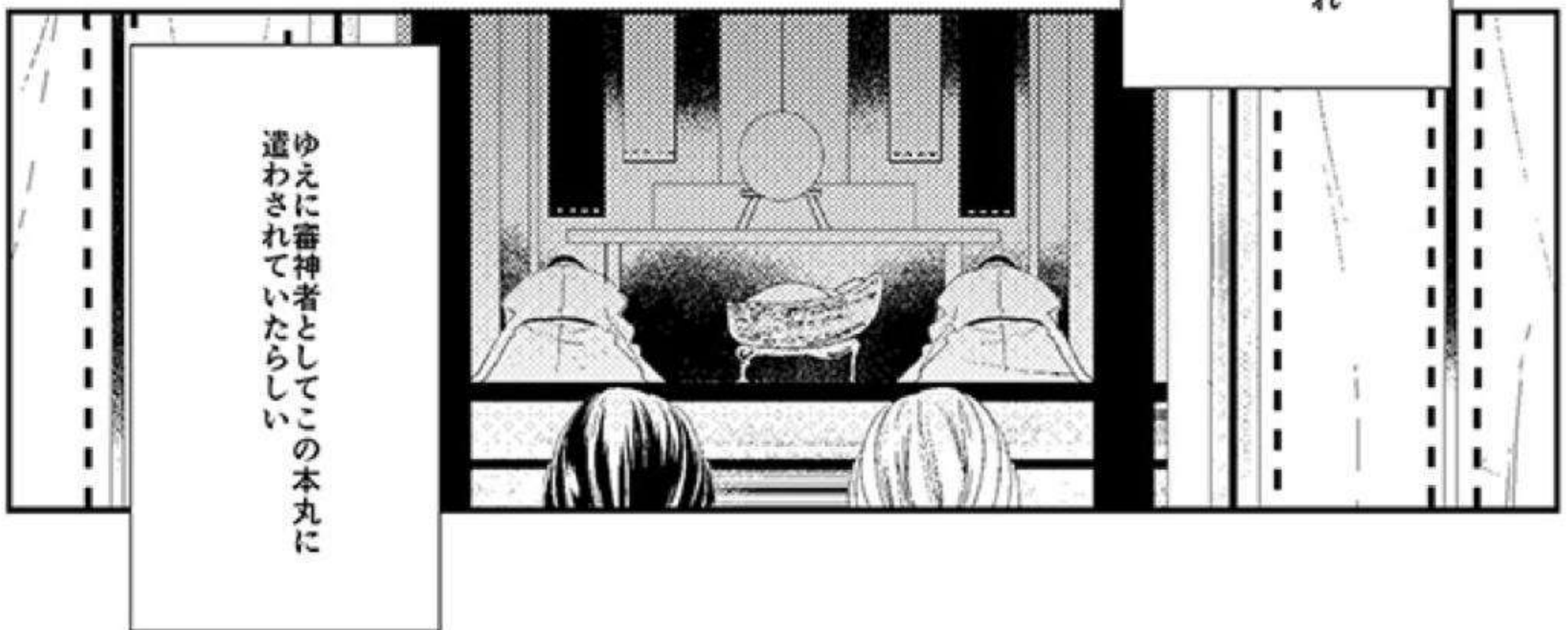


俺は自分の主である審神者を嫁に迎えた

主は真面目で善良な審神者だと思っていたが  
それは正しくもあり 間違えでもあった



主はある有名な神職の家に生まれ  
神に奉げられる事を  
生まれたその日に決められた



ゆえに審神者としてこの本丸に  
遣わされていたらしい



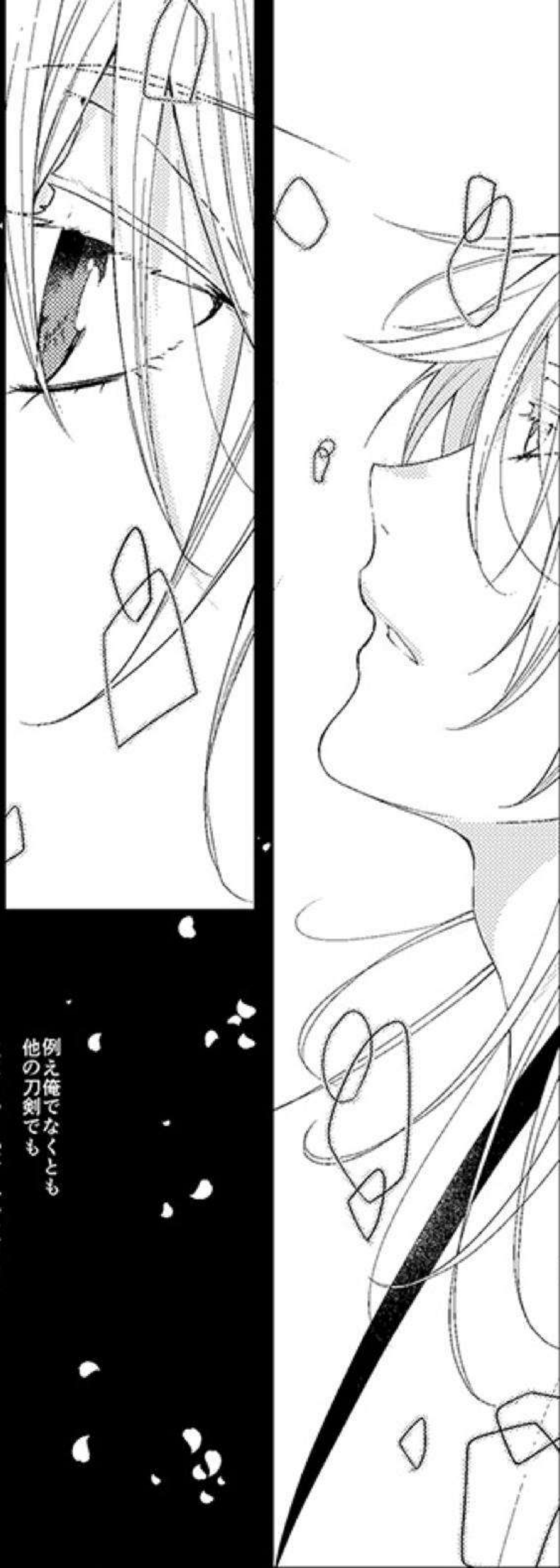
俺は 主を欲し  
この本丸の刀剣に許可を得て



主を神嫁に迎えた



主は この本丸の刀剣達の意思ならばと 受け入れた

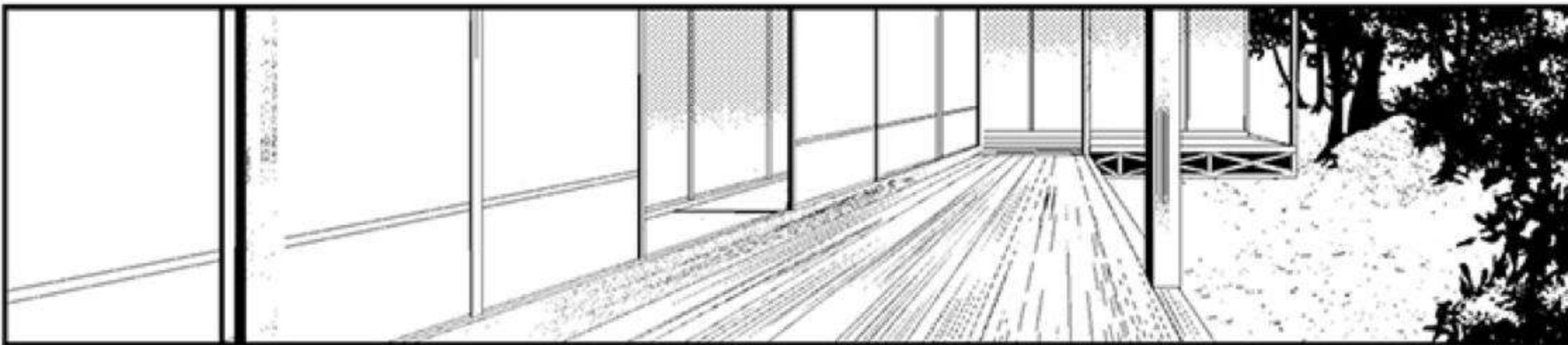
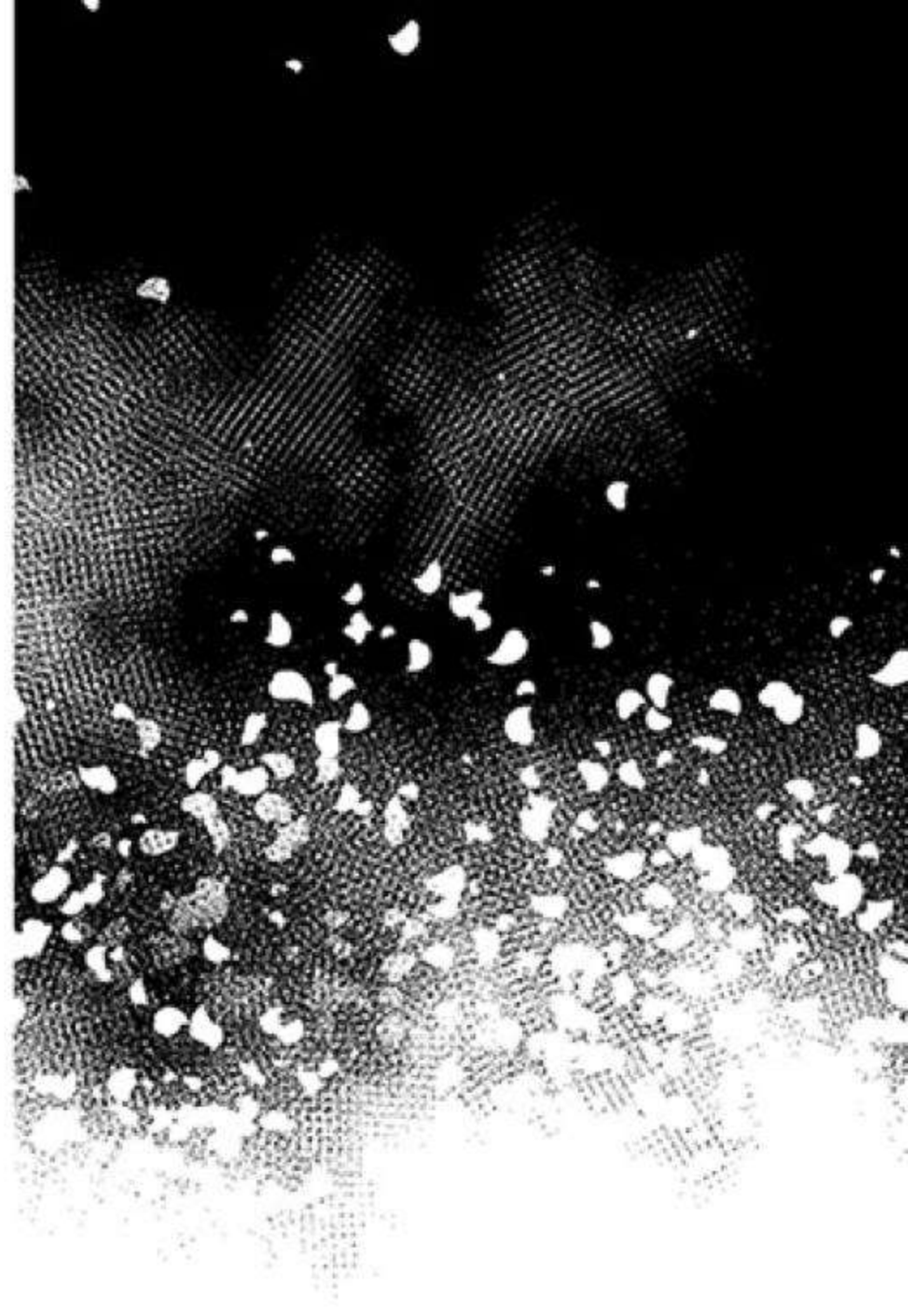


例え俺でなくとも  
他の刀剣でも

主はきつと受け入れただろう



神の賢になるために この本丸に来たのだから





君に似合うと  
思ってたな

遠征の土産だ



うん  
綺麗だ



鶴丸様…  
ありがとうございます



俺に惚れてくれたか？

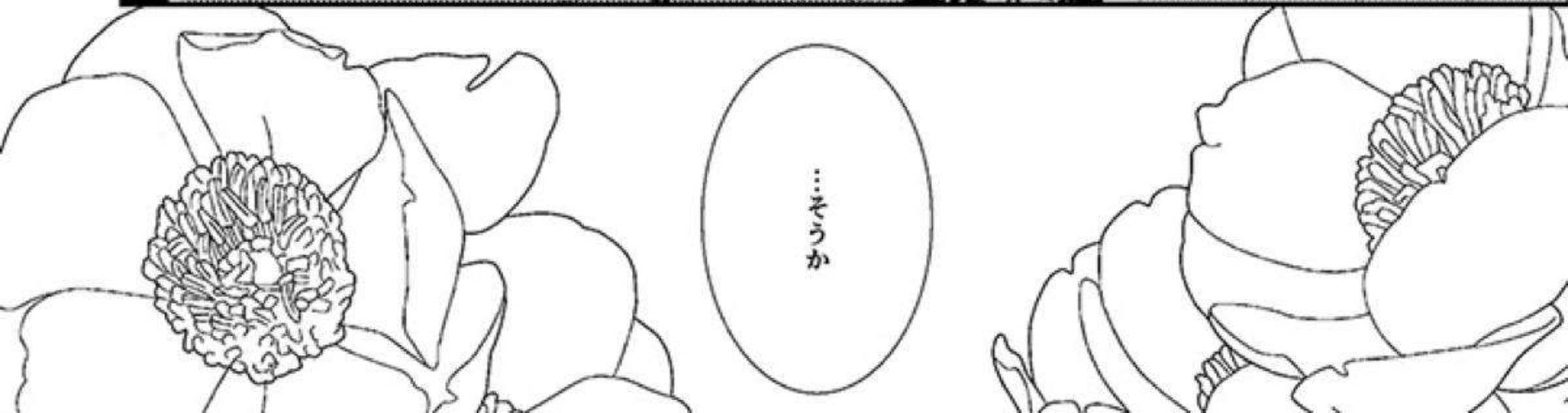


なあ主



はい

鶴丸様を  
愛しておりますよ…



…おっか







こうすれば  
ずっと眺めていられます

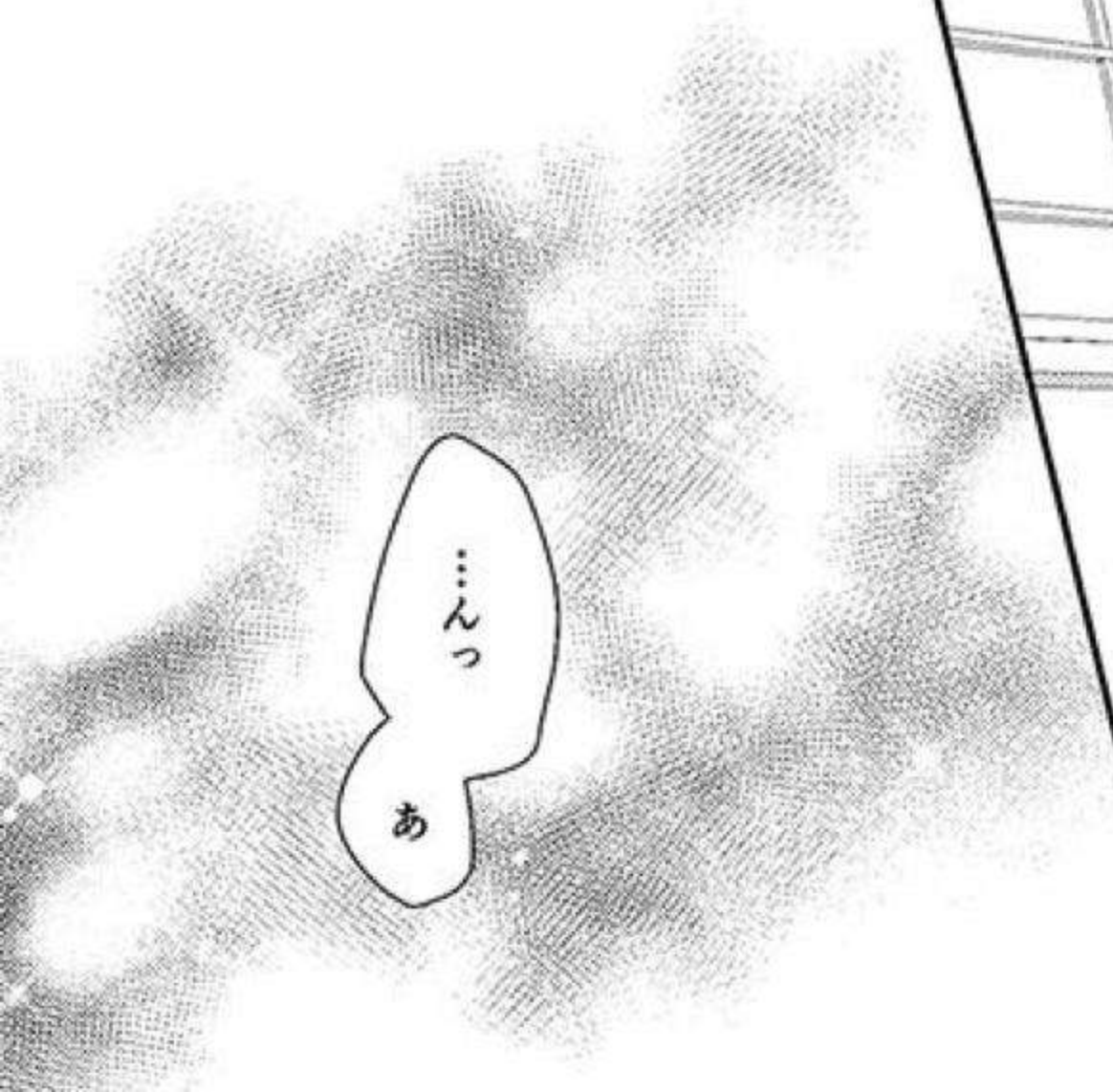


鶴丸様

ありがとうございます



ああ…  
君が喜んで  
くれれば何よりだ



…んっ  
あ







主...っ

キゅっ

んっ

甘く麗しの風



あん

ふあ

っ...るま...っ

あ



もっとおお...

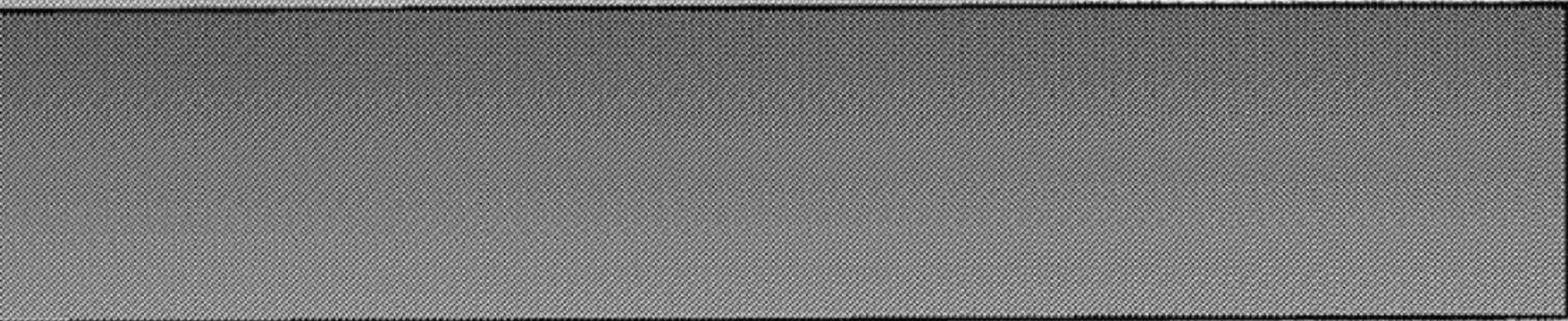
俺にすぎる細い指

あ  
あっ

39

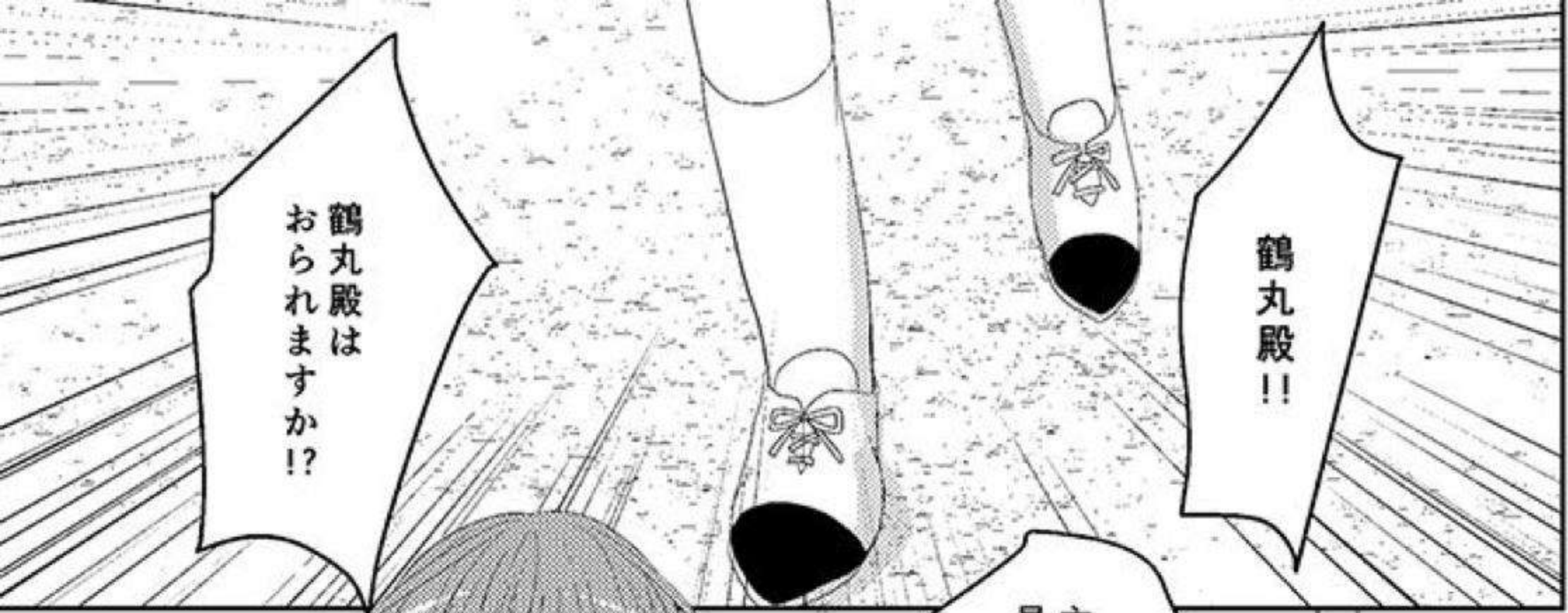


このまま、彼女と融けてしまえたら



君も 俺に惹かれていたら 自惚れてもいっいのか…

第一部隊帰還!!  
主に通達を!



鶴丸殿は  
おられますか!?

鶴丸殿!!



主君が…っ  
早く主君のお部屋に!!



すまん!!



ここはいいから!  
早く主の下に!



主に  
何かあったのか!?

早く!!





くそ……っ

第一部隊が出立後  
倒れられて……っ



神気が足りなかったか!?  
何かあればすぐ俺に  
分かるはずなのに……っ

主……っ!!







鶴丸様をびっくりさせるとは  
コレくらいしないと駄目だって  
歌仙様がおっしゃって…  
前田様と一緒に  
考えてくださったんです

…歌仙もグルか…

いつも主君を驚かせて  
いるのだから  
たまにはこちらから驚かそうと  
なりました

まったく…  
主よ

君に何かあったのかと  
肝も冷えたし  
ややこができるとは思  
ってなかったからな

君も  
人が悪いぞ？

驚かせてしまって  
ごめんなさい  
でもいつも鶴丸様に  
驚かされてばかりだから  
たまにはいいでしょう？



「キーン」



鶴丸様？



ああ！

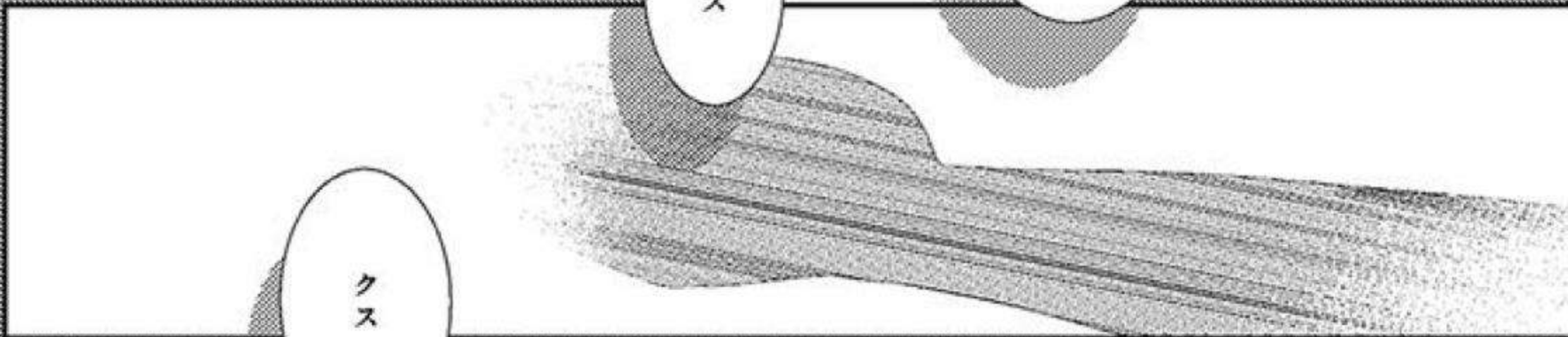
驚いたぞ！！

俺は 彼女が心から笑う顔を  
初めて見た気がした

それは 彼女が俺に対して 初めて見せた 「本当の笑顔」だった









最近審神者が  
何者かに狙われる  
事案が多発しているそうです

この国でも  
既に七件とか



主

政府からの  
緊急通達です



私なら大丈夫ですよ  
この本丸からあまり  
出ませんし

今は鶴丸様の  
加護もありますから



審神者が…かい？  
それは心配だね



主君の護衛を  
増やした方がいいですね



短刀の者連数振り  
警護に回しましょう

ですが…注意するに  
越したことはありません

そうだな…  
できれば俺が残りたいが  
第一部隊は離れられん  
からな…



神刀連に結界の  
強化を頼んでこよう

僕も短刀連に  
知らせてきます



俺も行こう  
脇差連も組ませた方が  
いいだろう

はい  
出陣の予定を  
組み直しましょう



鶴丸


主を頼むよ




言われるまでもないさ



…鶴丸様も？



当たり前だろ？  
皆君が大事なんだ



皆さん  
心配性です



鶴丸様…



この本丸の  
どの刀より君を  
愛してるに決まってる

君は俺の嫁だぞ？



…なあ  
君は俺の子が欲しいか…？



え…？

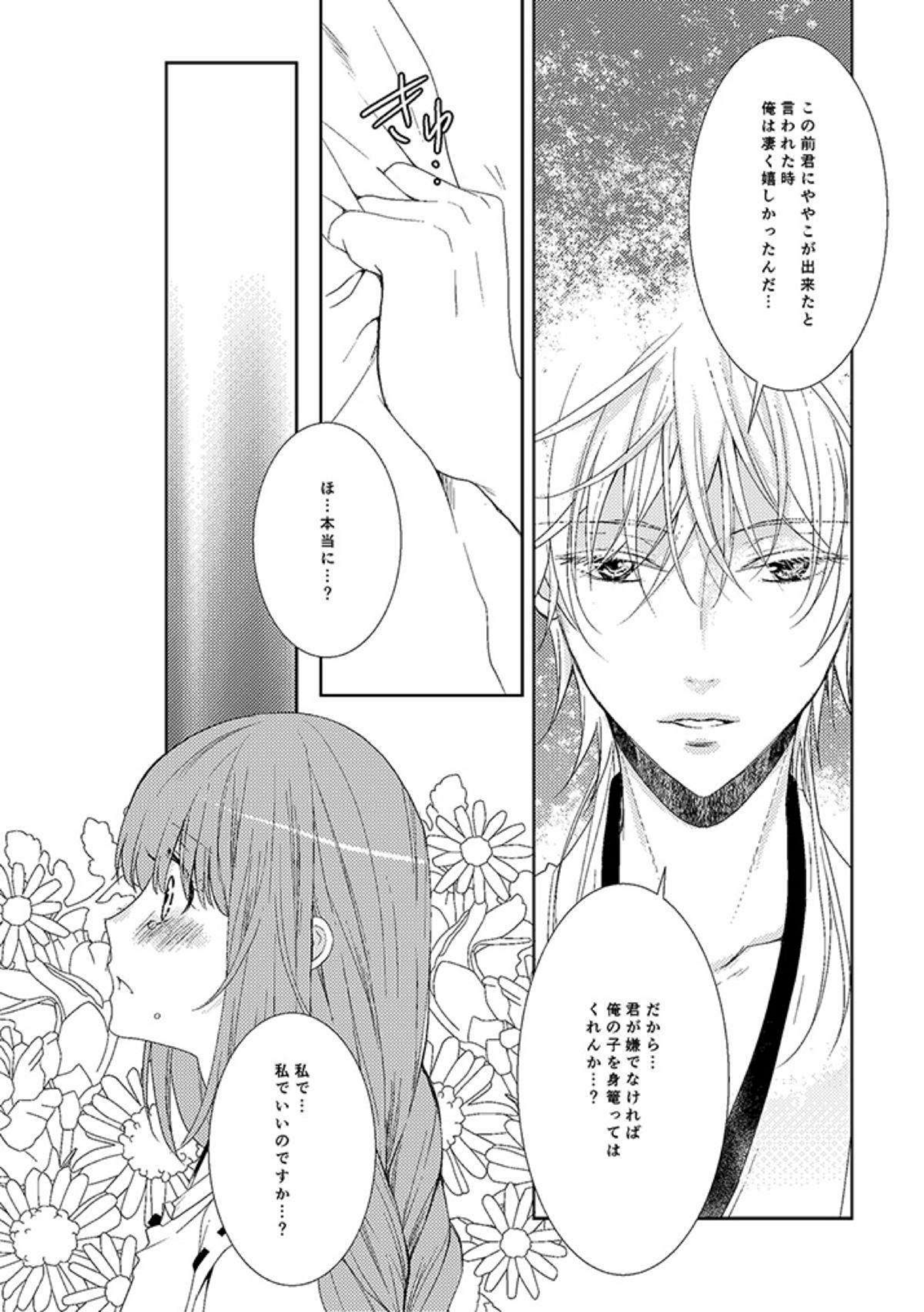
この前君にややこが出来たと  
言われた時  
俺は妻く嬉しかったんだ…

ほ…本当に…?

だから…  
君が嫌でなければ  
俺の子を身籠ってほ  
くれんか…?

私で…  
私でいいのですか…?

きゅ





俺の嫁は君だ  
他に誰がいる？



私が審神者じゃ  
なくなっても…

貴方の主でなくなっても  
愛して…くれるの…ですか？

俺という『鶴丸国永』は  
君だけを愛している  
例え君が  
審神者でなくなっても  
主でなくなっても



俺の嫁は  
君だけだ






私は 神職の家に生まれ

神に奉げられる事が  
生まれた時から  
の運命でした


だから  
鶴丸様  
が私を娶ると  
仰った時も

これが運命なのだと  
諦め受け  
入れました

でも




私を神嫁に  
迎えてくださった鶴丸様に




私は初めて  
恋をしました




穏やかな瞳も



私を優しく抱く腕も

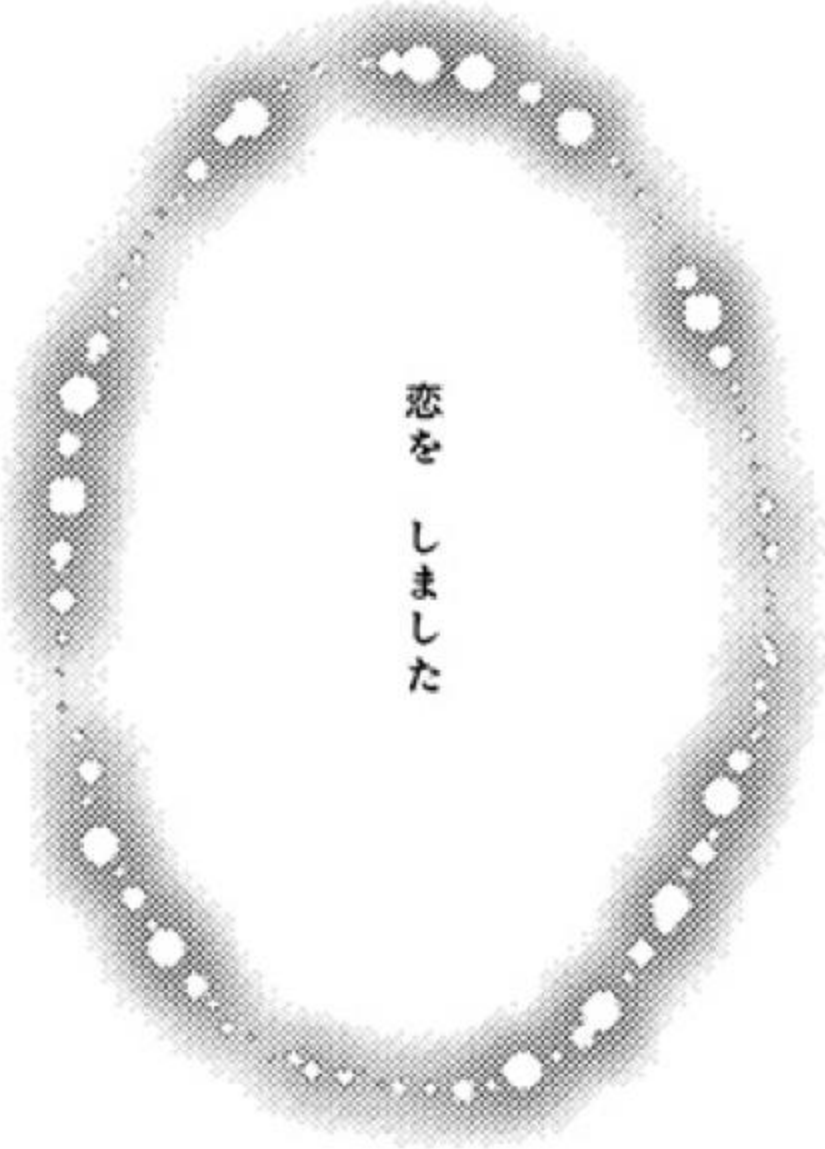


雪のように白い  
お姿も



全部  
好きになっていました

気がつけば



恋を  
しました

しかし  
初夜のやり直しとは

私…

鶴丸様と  
ちゃんと夫婦に  
なりたいから…

君も  
面白い事を考えるな

そうか…

それなら  
俺も

君にもう一度  
プロポーズ  
しなければな

主…  
君を愛してる

…好き…

俺の嫁になって  
くれないか…?

鶴丸さま…っ!!





それじゃあ  
行ってくる

はい  
御武運を



これを

クハヤリ



俺の神気を籠めておいた  
君の護りの足しに  
なるだろう

…可愛い

ありがとうございます  
ございます



ああ  
そうだ

鶴丸様？





クッ

クッ



何...この音

子どもの声...?



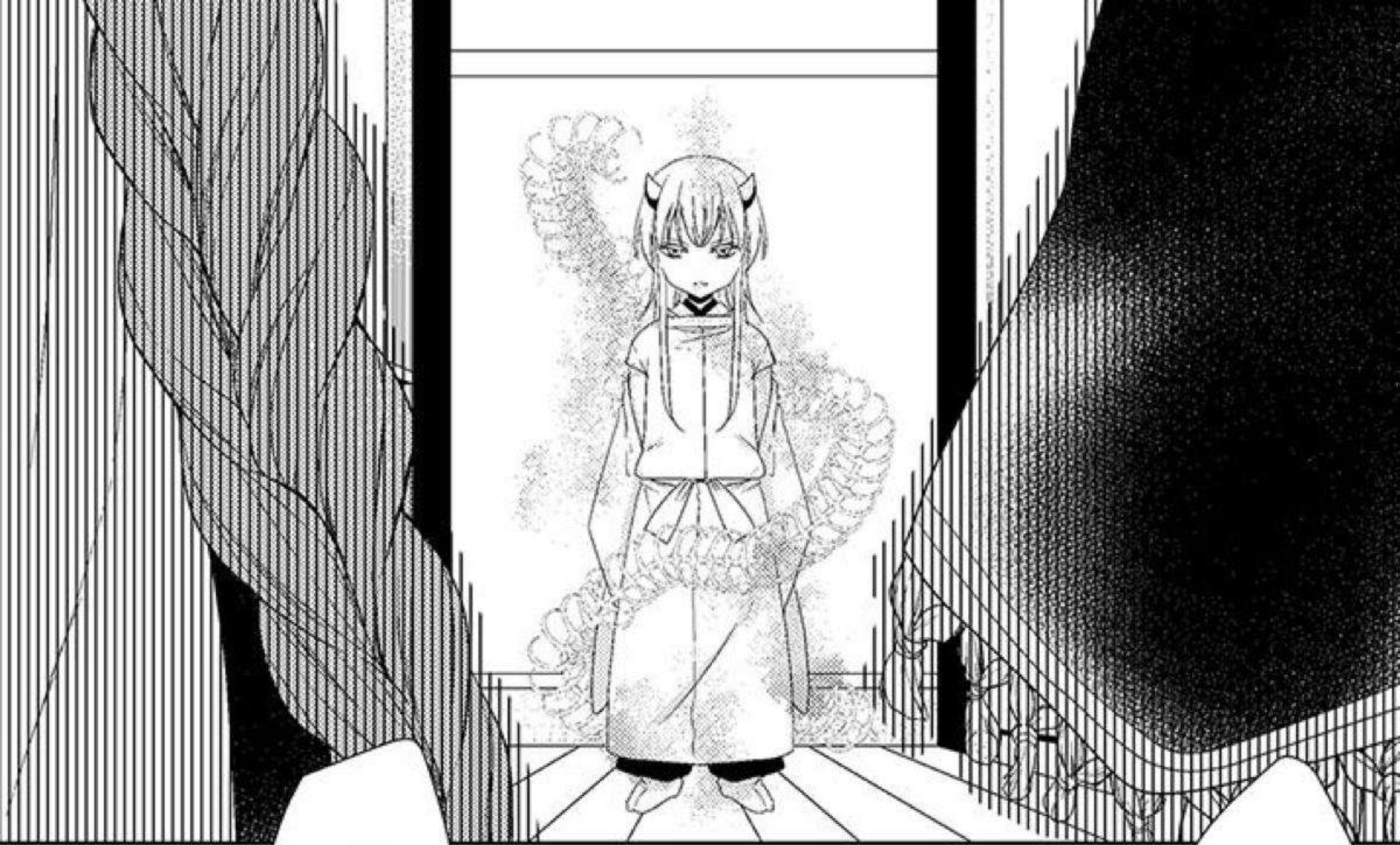
クッ

ミツケタ



主君...っ!  
僕の側から  
離れないで下さい!!





子ども…!?

一体どこから…!?

…主君…!!  
僕が時間を稼ぎます!!

主君は薬研達の所に  
走ってください!!

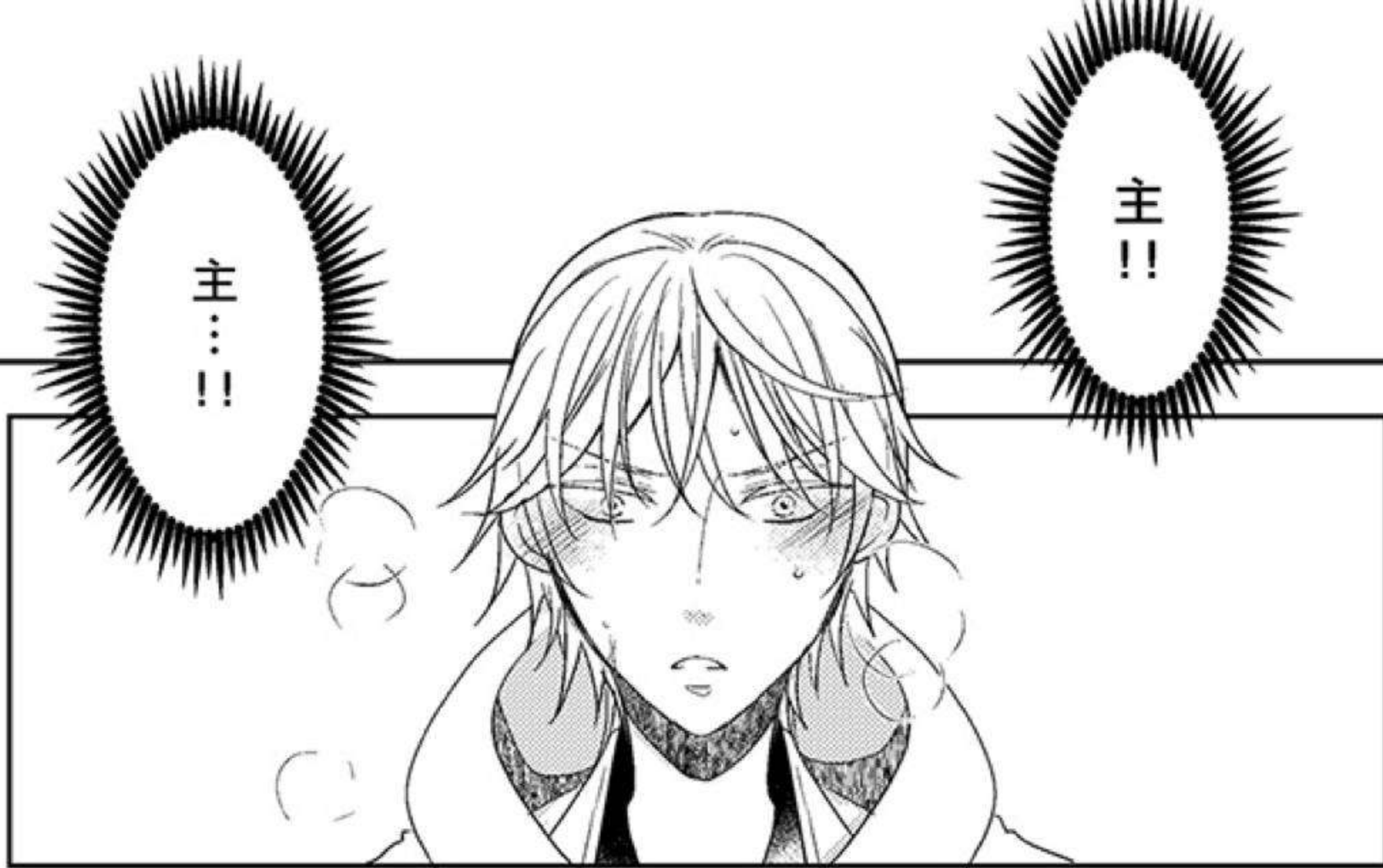
あの童…  
敵です…!!



鶴丸様…っ!!









主を…返せえええ!!





To Be Continued

うああああ……っ



奉  
神  
詠  
詩  
士

R18  
ADULT  
ONLY



